

平成 27 年度瀬戸内海（大阪湾）におけるカタクチイワシ（シラス）転送効率計算業務仕様書

1. 業務名

平成 27 年度瀬戸内海（大阪湾）におけるカタクチイワシ（シラス）転送効率計算業務一式

2. 業務請負期間

契約日から平成 28 年 2 月 29 日まで

3. 実施業務

(1) 業務概要

瀬戸内海（大阪湾）におけるカタクチイワシ（シラス）の漁獲量の時間及び空間的な変化に関する現地調査結果について、数値シミュレーションにより再現を行う。

これにより、対象海域におけるカタクチイワシ（シラス）までの栄養塩の転送効率及び適正な負荷量について解析するとともに、同種の解析に適用可能な数値モデルを提案することを目的とするものである。

(2) 業務の内容

ア 計画準備

① 計画準備

業務を円滑に行うために、事前に具体的な検討内容、業務工程表、業務体制などを記載した業務計画書を作成する。

② 打合せ・協議

業務の実施方法、業務成果等について、発注担当と打合せを行うものとする。打合せは、事前協議、最終報告の他、必要に応じて緊密に中間報告・協議を行うものとする。

イ 資料収集・整理

大阪湾におけるカタクチイワシ（シラス）の時間及び空間分布の変化に関する流況・水質・生態系シミュレーションの実施に必要な地形、流況、水温・塩分・水質（栄養塩濃度等）、カタクチイワシ（シラス）漁獲量について、資料収集及び整理を行う。

ウ 地形条件の作成・設定

大阪湾におけるカタクチイワシ（シラス）の時間及び空間分布の変化に関する流況・水質・生態系シミュレーションの地形条件となる地形データの作成を行う。

地形データの作成時期は、最新のデータが収集可能な 2013 年とする。

エ モデル構築

① 流況・水質等再現

1) 大阪湾における流況・水質等の再現計算を行うために、必要な資料として、気象、潮位、流況、水温、塩分、水質（栄養塩濃度等）を整理し、再現性の検証に必要な処理を行う。

2) 再現性の検証項目は、1 年間（2013 年）の流況、水温、塩分、栄養塩濃度、クロロフィル a（植物プランクトン）、動物プランクトンの時間及び空間分布の変化とする。

3) 大阪湾を対象とする流況・水質（栄養塩濃度等）の再現計算モデルを構築する。

4) 再現計算結果をもとに、以下の整理を行うものとする。

流速ベクトル図、平均流ベクトル図

水質（栄養塩濃度等）の時間及び空間分布の変化に関する図等

② カタクチイワシ（シラス）の漁獲量の再現及び評価

1) 大阪湾におけるカタクチイワシ（シラス）の時間及び空間分布の変化に関する再現計算を行うために、必要な資料として、カタクチイワシ（シラス）の漁獲量に関する資料を整理し、再現性の検証に必要な処理を行う。

2) 再現性の検証項目は、1年間（2013年）のカタクチイワシ（シラス）の漁獲量の時間及び空間分布の変化とする。

3) 大阪湾を対象とするカタクチイワシ（シラス）の再現計算モデルを構築する。

4) 再現計算結果をもとに、以下の整理を行うものとする。

カタクチイワシ（シラス）の時間及び空間分布の変化に関する図

5) カタクチイワシ（シラス）の漁獲量に関する評価

大阪湾における栄養塩濃度とカタクチイワシ（シラス）の漁獲量の時間及び空間分布の変化を分析し、海域におけるカタクチイワシ（シラス）までの栄養塩の転送効率と、カタクチイワシ（シラス）の漁獲量を維持するための適正な負荷量についての定量的な評価を行う。

オ 検討会資料の作成等

大阪湾におけるカタクチイワシ（シラス）の漁獲量を再現したモデルの概要、再現計算の結果、漁獲量の評価に関する成果をとりまとめ、別途開催される専門家による検討会の説明資料を作成するとともに、検討会に出席する。

(3) 成果物

本業務の成果を報告書としてとりまとめ、電子納品を行う。

電子データとして、電子媒体（CD-R）で2部を（公財）国際エメックスセンターに提出する。

また、「紙」による報告書の提出は、報告書1部（原図、記録紙等含む）とする。報告書製本の体裁はA4判とし、A3判図表は折り込みとする。

4. 支払

検査に合格した時は、業務請負代金請求書により一括で支払う。

5. その他

ア 本仕様書中、不明な箇所が生じた場合は、全て担当職員の指示に従うものとする。

イ 本業務に関する機密保持及び個人情報の取り扱いについては、別に定める特記事項を順守すること。

ウ 本仕様書に定めのない事項について、これを定める必要がある場合は、発注者請負者間で協議するものとする。

平成 27 年度瀬戸内海（大阪湾）におけるカタクチイワシ（シラス）転送効率計算業務
に係る企画書作成要領

企画書は、以下の項目について、別紙様式に従い作成するものとする。

1. 業務に対する理解度

瀬戸内海（大阪湾）の環境特性に関する基本認識、既往資料の収集整理の方針、再現計算モデルの構築方法を記述したうえで、再現結果の評価方針について別紙様式Aにより記述する。

2. 業務実施方法の提案

以下の項目に係る業務実施方法を、別紙Bにより記述する。

- (1) 計画準備
- (2) 資料収集・整理
- (3) 地形条件の作成・設定
- (4) モデル構築
 - ① 流況・水質等の再現
 - ② カタクチイワシ（シラス）の漁獲量の再現

3. 見積金額

業務実施に関する見積書を添付する。

4. 業務実施フロー

業務実施フローについて、別紙Cにより記述する。

5. 業務実施体制

業務実施体制について、別紙Dにより記述する。

6. 業務実績

業務実績について、別紙Eにより記述する。